



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月29日
上場取引所 東

上場会社名 田中精密工業株式会社
コード番号 7218 URL <http://www.tanasei.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 金森 俊幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 沖 健司 TEL 076-469-9107
四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年11月30日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	13,492	24.1	550	—	639	—	13	—
2021年3月期第2四半期	10,868	△36.2	△1,045	—	△992	—	△801	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 △188百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △952百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	1.36	—
2021年3月期第2四半期	△82.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	34,888	20,702	43.4	1,552.05
2021年3月期	36,898	21,154	41.2	1,555.77

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 15,149百万円 2021年3月期 15,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	3.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,600	13.7	1,400	—	1,500	—	500	—	51.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	9,763,600株	2021年3月期	9,763,600株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	2,855株	2021年3月期	2,855株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	9,760,745株	2021年3月期2Q	9,760,745株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料のP. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社を取り巻く環境は、昨年から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響による世界経済の悪化が、ワクチンの普及により、米国をはじめ各国回復傾向となつてはいるものの、新たな変異株発生による感染再拡大等の懸念材料により、先行き不透明な状況が続いております。その影響から、取引先である自動車業界は、景気回復傾向により全世界において販売台数は増加したものの、半導体不足等による顧客における生産調整等も重なり、新型コロナウイルス感染拡大以前までの回復には至りませんでした。

このような環境の中、売上高につきましては、半導体不足等による顧客における生産調整等がありましたものの、景気回復等による受注増加により、13,492百万円（前年同四半期比24.1%増）となりました。損益につきましては、増収効果及び総費用削減により、営業利益550百万円（前年同四半期は営業損失1,045百万円）、経常利益639百万円（前年同四半期は経常損失992百万円）となりました。また、構造改革費用を特別損失に計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純利益は13百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失801百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

売上高につきましては、景気回復による受注増加及び新規V6車種のエンジン部品や車載発電用エンジン部品の新規立上げにより7,101百万円（前年同四半期比29.1%増）となり、損益につきましては、増収効果及び総費用削減により520百万円のセグメント利益（前年同四半期はセグメント損失768百万円）となりました。

② 米国

売上高につきましては、半導体不足等による顧客における生産調整等がありましたものの、為替換算影響により3,741百万円（前年同四半期比3.3%増）となり、損益につきましては、引き続き総費用削減に努めましたものの、先述の生産調整による減産により195百万円のセグメント損失（前年同四半期はセグメント損失188百万円）となりました。

③ タイ

売上高につきましては、景気回復による受注増加により2,207百万円（前年同四半期比63.3%増）となり、損益につきましては、増収効果及び総費用削減により105百万円のセグメント利益（前年同四半期はセグメント損失163百万円）となりました。

④ ベトナム

売上高につきましては、景気回復による受注増加により441百万円（前年同四半期比11.4%増）となり、損益につきましては、増収効果及び総費用削減により82百万円のセグメント利益（前年同四半期比21.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、退職給付に係る資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,009百万円減少し、34,888百万円となりました。負債の部では、退職給付に係る負債の減少等により、1,557百万円減少し、14,185百万円となりました。なお、純資産の部では、非支配株主持分の減少等により、452百万円減少し、20,702百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,220百万円（前年同四半期は81百万円の収入）となりました。主な内訳は、減価償却費1,325百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、582百万円（前年同四半期は1,256百万円の支出）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出634百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,766百万円（前年同四半期は940百万円の収入）となりました。主な内訳は、短期借入れの返済1,140百万円、長期借入金返済による支出623百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、2021年9月17日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,101,050	5,920,556
受取手形及び売掛金	3,149,392	2,712,658
商品及び製品	1,454,218	1,750,604
仕掛品	945,744	1,334,466
原材料及び貯蔵品	2,359,724	2,958,353
その他	277,532	271,246
流動資産合計	15,287,662	14,947,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,213,993	6,098,208
機械装置及び運搬具(純額)	7,273,473	6,534,257
土地	2,388,082	2,371,066
その他(純額)	961,964	1,552,887
有形固定資産合計	16,837,512	16,556,420
無形固定資産	255,405	219,732
投資その他の資産		
投資有価証券	2,717,694	2,778,035
その他	1,799,846	386,461
投資その他の資産合計	4,517,541	3,164,497
固定資産合計	21,610,460	19,940,650
資産合計	36,898,122	34,888,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,553,868	1,451,644
電子記録債務	563,709	522,582
短期借入金	4,620,000	3,480,000
1年内返済予定の長期借入金	1,246,836	1,246,836
未払法人税等	83,026	92,961
その他	2,248,343	3,732,906
流動負債合計	10,315,785	10,526,931
固定負債		
長期借入金	3,193,660	2,570,242
退職給付に係る負債	1,481,315	118,229
資産除去債務	90,844	93,145
その他	661,548	877,330
固定負債合計	5,427,367	3,658,946
負債合計	15,743,153	14,185,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,190	500,190
資本剰余金	324,233	324,233
利益剰余金	12,778,494	12,789,941
自己株式	△2,668	△2,668
株主資本合計	13,600,250	13,611,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	584,109	618,002
為替換算調整勘定	981,548	919,433
退職給付に係る調整累計額	19,531	—
その他の包括利益累計額合計	1,585,189	1,537,436
非支配株主持分	5,969,529	5,553,524
純資産合計	21,154,969	20,702,658
負債純資産合計	36,898,122	34,888,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	10,868,420	13,492,230
売上原価	10,140,157	11,323,564
売上総利益	728,262	2,168,665
販売費及び一般管理費	1,773,449	1,618,523
営業利益又は営業損失(△)	△1,045,187	550,141
営業外収益		
受取利息	19,173	20,843
受取配当金	29,344	36,954
為替差益	6,138	—
スクラップ収入	7,839	—
受取補償金	—	39,664
その他	25,515	34,532
営業外収益合計	88,010	131,994
営業外費用		
支払利息	34,010	32,775
為替差損	—	7,981
その他	1,495	1,816
営業外費用合計	35,506	42,572
経常利益又は経常損失(△)	△992,683	639,563
特別利益		
固定資産売却益	5,059	54,690
ゴルフ会員権売却益	340	—
貸倒引当金戻入額	223	—
特別利益合計	5,623	54,690
特別損失		
固定資産売却損	2,309	—
固定資産除却損	15,702	7,911
減損損失	—	2,553
投資有価証券評価損	0	—
関係会社株式評価損	23,734	—
ゴルフ会員権売却損	—	1,018
特別退職金	—	633,052
特別損失合計	41,747	644,535
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,028,807	49,719
法人税等	△134,678	51,634
四半期純損失(△)	△894,129	△1,915
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△92,178	△15,154
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△801,950	13,238

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△894,129	△1,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123,133	34,514
為替換算調整勘定	△297,863	△200,924
退職給付に係る調整額	116,095	△19,911
その他の包括利益合計	△58,634	△186,320
四半期包括利益	△952,763	△188,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△772,420	△34,514
非支配株主に係る四半期包括利益	△180,342	△153,721

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,028,807	49,719
減価償却費	1,324,963	1,325,760
減損損失	—	2,553
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,574	—
受取利息及び受取配当金	△48,517	△57,798
支払利息	34,010	32,775
為替差損益(△は益)	9,069	△14,844
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,749	△54,690
有形固定資産除却損	15,702	7,911
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
受取補償金	—	△39,664
関係会社株式評価損	23,734	—
売上債権の増減額(△は増加)	143,211	357,836
棚卸資産の増減額(△は増加)	129,064	△1,266,290
仕入債務の増減額(△は減少)	△621,225	18,178
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△75,361	35,139
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△134,910	164,770
特別退職金	—	633,052
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	—	1,018
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	194,219	733,544
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19,612	△643,931
その他	182,525	△4,645
小計	114,743	1,280,395
利息及び配当金の受取額	48,517	57,798
利息の支払額	△34,037	△29,607
補償金の受取額	—	39,664
法人税等の支払額	△47,985	△128,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	81,238	1,220,195

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,404,266	△634,597
有形固定資産の売却による収入	7,974	68,569
無形固定資産の取得による支出	△17,127	△4,360
投資有価証券の取得による支出	△11,089	△12,363
投資有価証券の売却による収入	—	1,400
貸付金の回収による収入	730	—
定期預金の預入による支出	△376,345	△2,345
定期預金の払戻による収入	543,345	2,345
その他	△153	△1,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,256,931	△582,439
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,285,000	△1,140,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,642,287	△623,418
セール・アンド・リースバックによる収入	—	292,700
リース債務の返済による支出	△9,713	△33,794
配当金の支払額	△120	△122
非支配株主への配当金の支払額	△92,109	△261,739
財務活動によるキャッシュ・フロー	940,769	△1,766,373
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79,412	△51,876
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△314,336	△1,180,493
現金及び現金同等物の期首残高	5,763,703	7,025,669
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,653	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,438,713	5,845,176

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、国内連結子会社の自動車販売取引の収益認識基準を登録日基準から納車日基準に変更しております。

また、従来、製造費用から控除あるいは営業外収益のスクラップ収入として計上しておりました製造の過程で生じる作業くず(金属屑)の売却収入については、顧客へ移転した財の対価として受け取るものであることから、売上高として計上することといたしました。

さらに、買戻し義務を負っている有償支給取引について、金融取引として有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について「原材料」を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

また、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が168,402千円増加、売上原価が130,402千円増加、営業利益が37,999千円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,281千円増加しております。また、利益剰余金の期首残高が1,791千円減少しております。さらに、原材料及び貯蔵品が10,272千円増加し、流動資産その他が同額減少しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の連結財務諸表の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響が、2022年3月期に徐々に収束するという仮定について重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

四半期連結会計期間に係る法人税等については、当第2四半期連結会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	ベトナム	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	5,499,029	3,621,076	1,351,739	396,574	10,868,420	—	10,868,420
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,499,195	—	94,170	148,011	1,741,378	△1,741,378	—
計	6,998,225	3,621,076	1,445,910	544,586	12,609,798	△1,741,378	10,868,420
セグメント利益又は 損失(△)	△768,370	△188,455	△163,352	67,817	△1,052,361	7,174	△1,045,187

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,052,361
セグメント間取引消去	△18,186
棚卸資産の未実現利益の調整額	19,990
有形固定資産の未実現利益の調整額	5,370
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,045,187

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	ベトナム	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	7,101,335	3,741,251	2,207,884	441,758	13,492,230	—	13,492,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,115,407	12,889	128,925	295,546	1,552,768	△1,552,768	—
計	8,216,742	3,754,141	2,336,810	737,304	15,044,998	△1,552,768	13,492,230
セグメント利益又は 損失(△)	520,078	△195,132	105,461	82,297	512,704	37,437	550,141

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	512,704
セグメント間取引消去	34,403
棚卸資産の未実現利益の調整額	△12,487
有形固定資産の未実現利益の調整額	15,522
四半期連結損益計算書の営業利益	550,141

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の報告セグメント「日本」の売上高が168,402千円増加し、セグメント利益は37,999千円増加しております。